



中国四川省雅安市で起きたマグニチュード(M)7.0の地震から1日たった21日、記者は同市の山間部にある震源地、蘆山県に入った。▼2面Ⅱ大規模被災再び

道ふさぐ落石 救援難航

四川地震 震源地は

蘆山県へ向かう山道は、

災害物資を運ぶ車やボラン
ティア、報道機関などの車
も入れず、大渋滞してい
た。交通規制が敷かれ、一
般人の交通手段はバイクや
自転車しかない。オートバ

あった。前部がつぶれた乗
用車のそばには、崖から滑
り落ちた3メートル大の岩が転が
っていた。途中で、山崩れ
も起きていた。

通れるのはバイクのほ

か、軍や政府、医療機関な
どの車だけだ。前方からサ
イレンを鳴らし下りてくる
救急車7台とすれ違った。
ふもとの青空と、ストーン論

れ落ちていいる。商店街では
ビルからはがれ落ちた看板
や窓ガラス、建材が道に散
乱していた。上空では、軍
用ヘリコプターが大きな音
を立てて旋回している。

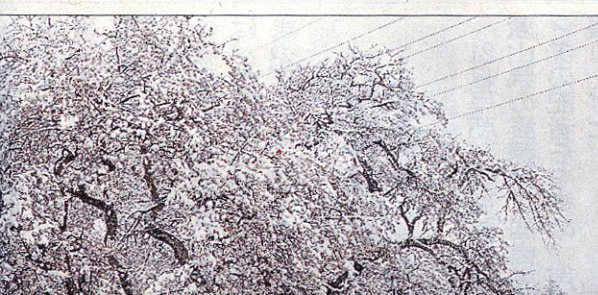
集合住宅の4階に住む鄧

成さん(68)は、地震発生
時、下の方から「ホーン、
ホーン」という大きな音が
聞こえたと話す。強い黄雷

8年の地震よりも短いが強
い揺れだった」
去年3月に約2万元(約
30万円)で建てた7人が住
む民家は、最初の地震で屋
根から崩れ落ちた。大人は
仕事に出ており、子どもも
外で遊んでいたため、けが
人はなかった。「運が良か
った」。母親の費春娟さん
(28)は、1歳の男の子を抱
いて語った。隣に住む王徳
強さん(43)は「余震が怖い
ので、中で寝られない。雨
がよく降る地域なのでこれ
からが心配です」。

資材置き場では、被災者

のテント村ができつつあ
る。支給された青いテント
やシートを巡らせた手作



崩れで道路が寸断されてい
る。21日、上空から被害
況を中継した中央テレビ
記者は、「損壊していな

2013年(平成25年)
4月22日
月曜日



天気 6 9 12 15 18 21(時)

東京	☀	☀	☀	☁	☀	16	7
横浜	☀	☀	☀	☁	☀	16	7
千葉	☁	☀	☀	☁	☀	15	5
さいたま	☀	☀	☀	☁	☀	16	5
札幌	☁	☀	☀	☁	☀	12	4
仙台	☀	☀	☀	☁	☀	14	3
名古屋	☀	☀	☀	☁	☀	18	4
大阪	☀	☀	☀	☁	☀	18	6
福岡	☀	☀	☀	☁	☀	18	7

朝日新聞東京本社

本日の編集長=中村史郎

〒104-8011東京都中央区築地5-3-2 電話03-3545-0131 www.asahi.com

安寿 あんじゅ **「安寿」介護用品**
排泄、入浴、移動・歩行、住改、生活支援
東亞合成グループ
アロン化成
<http://www.aronkasei.co.jp/>

オピニオン・社説・声 **11面**
■社説 核燃サイクルの愚／新型インフル対策
■風 相互不信の中、失墜した欧州統合の理想

高野山 **資産運用 高僧たちの争い**
空海が真言宗を開いて1200年、高野山が騒々しい。お布施など30億円超がハイリスクの金融商品などに投資されていたことが発覚し、高僧たちの対立が激化している。歴史ある宗教法人の資産運用の実態は――。 **38面**

ポストン **テロ後も普段通りに生活か**
ポストン・マラソンの爆破テロ事件で拘束されたジョハル・ツアルナエフ容疑者は、事件後も大学に通い、自分の日常をツイッターで発信していたようだ。捜査当局は、けがの回復を待って取り調べを始める。 **39面**

温暖化防止交渉、日本は「手ぶら」 **4面**

東京六大学 早大の高梨が完全試合 **19面**

「新発見!日本の歴史」6月創刊
週刊朝日五科「週刊」新発

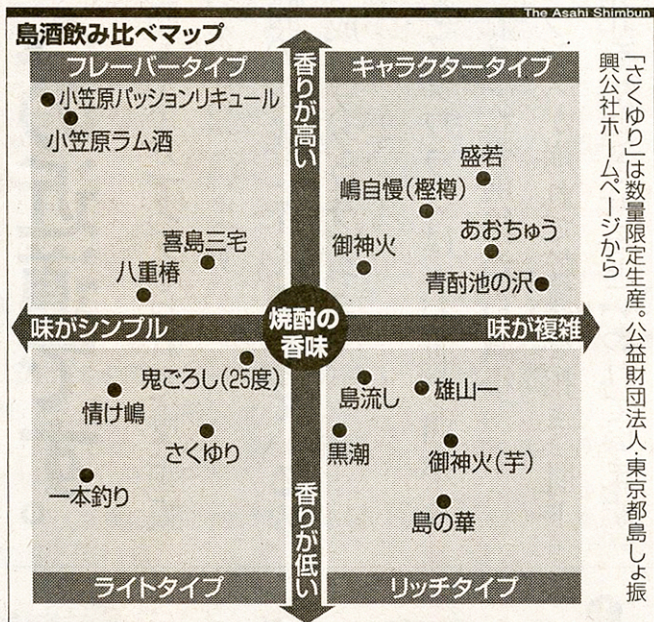
島の焼酎「見るソムリエ」

東京の島々に伝わる焼酎「島酒」の個性をもっと知ってもらおうと、主な銘柄の風味が一目で比べられるマップを、ソムリエなどの資格を持つ専門家がまとめた。奄美の黒糖焼酎や沖縄の泡盛と比べ、東京の島々の酒は「知る人ぞ知る」もの。だが、島の人に愛される味は、ひけをとらない。

きき酒師・友田さんらマップ作製

マップは香りの強さと味の複雑さに応じて、島の酒18種類を四つのタイプに分類。初心者でも、七島に九つある蔵の焼酎などから、好みのものを選びやすくした。銘柄ごとの解説には、ソーダやお湯割り、ロックなどおすすめの飲み方を紹介。食前酒、前菜からメイン、デザートまで、どんな料理と相性がいいかもわかり、コース料理に合わせて島酒のちがいを楽しめる。まとめたのは、ソムリエ

友田さんが島酒のうまさを知ったのは15年ほど前だ。ソムリエの田崎真也さんと取材で訪れた八丈島で、地魚とすこぶる相性のいい島酒と巡り合った。鹿児島島の芋焼酎や泡盛は米こうじを使うが、火山島で稲作に向かない島々の酒は、



4タイプに分類「楽しみの幅広げて」

麦こうじが基本。「麦こうじならではの引き締まった味が魅力。島名物の漬けの白身魚と良く合う」島酒の代表格は、1988人と日本一人口が少ない村、青ヶ島村の青酎だ。30年余り前まで家々で作られる「日本最後の密造酒」とも言われた。島のサツマイモを麦こうじで仕込む青酎は、香りも味も濃厚で「通好み」。一方で、八丈島などには、淡麗な味わいで飲みあきない麦焼酎もある。友田さんは「作り手も飲む人も気がついていない人がまだ多いが、小さな島々なのに焼酎のバリエーションは豊か。マップで楽しみ方の幅を広げて欲しい」と話している。マップは、公社のホームページ (<http://www.tokyoislands-net.jp/shimazake/>) に掲載。島酒は、竹芝客船ターミナルのアンテナショップ・東京愛らんどで買える。(福井悠介)